

2014年4月17日(木)

協和エクシオ、神奈川県立弥栄高等学校に 防災対応型の太陽光発電システムを構築、納入 ～災害発生時の電源確保に加え、通常時はピークカットに貢献～

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）では、環境事業の一環として、太陽光発電システムの設計から施工、運用システムの構築に至るまでの設備設置工事、さらには再生可能エネルギーの固定価格買取制度による売電を実施する発電事業を展開しておりますが、このたび、神奈川県から受注し工事を進めていた「県立弥栄高等学校太陽光発電設備及び蓄電池設備導入事業」が完成し、引き渡しが完了しましたのでお知らせいたします。

今回当社が実施した工事は、神奈川県が太陽光発電設備と蓄電池設備を組み合わせることにより、災害時の防災拠点において、停電時であっても必要な電気を自立的に確保すること、及び、太陽光発電設備により発生した電気を積極的に活用することで、二酸化炭素排出抑制及び電力需給の安定に貢献することを目的に、県広域防災活動拠点である県立弥栄高等学校に、太陽光発電と蓄電池を組み合わせた防災対応型の太陽光発電システムを構築したもので、神奈川県立高校では2例目となります。

システムは、太陽光発電と蓄電池から得られる電力を施設に供給できるよう構成されており、通常時は太陽光発電で得られる電力を電力会社から購入する電力と合わせて施設全体に、非常時（停電時）は自動で自立運転に切り替わり、体育館の照明などの特定の場所に太陽光発電と蓄電池から得られる電力を供給します。また通常時においても、電力のピーク時には太陽光発電に加え蓄電池からも電力を供給する運転モードに切り替わり、ピークカットに貢献します。

太陽光発電設備は、出力15.60kW、年間発電量で16,353kWhの発電が可能な合計80枚の太陽電池モジュールを校舎中央棟の屋上に設置していますが、建物への負荷の軽減、さらには最大限の発電効率が得られるよう、太陽電池モジュールは異なる枚数のユニットで3箇所を設置しています。

当社では、これまでメガソーラーをはじめとする太陽光発電設備の設計・施工、さらには自社での発電事業を数多く手掛けてきましたが、今回の施工実績を踏まえ、今後は防災対応型の太陽光発電システムに関しても、全国の自治体をはじめ学校や病院などの施設、さらには企業などに対し、積極的に提案していく方針です。

今回の「県立弥栄高等学校太陽光発電設備及び蓄電池設備導入事業」の概要は以下の通りです。

発注機関：神奈川県
工事名称：県立弥栄高等学校太陽光発電設備及び蓄電池設備導入事業
設計・施工：株式会社協和エクシオ
工期：2014年1月24日～2014年3月31日
設置場所：神奈川県立弥栄高等学校
(神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-8)

設備：
・太陽光発電設備
 太陽光パネル出力 15.60 kW
 太陽光パネル枚数 80枚
 年間発電量(見込み) 16,353 kWh/年
・蓄電池設備
 種類 チタン酸リチウム
 電力量 15 kWh以上
・パワーコンディショナ
・データ収集装置
・小型ディスプレイ(システム監視モニタ) 他



写真は、校舎屋上の3箇所に設置した太陽電池モジュール

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-29-20 総務部 CSR・広報室

電話：03-5778-1075(直) FAX：03-5778-1228

担当：高柳 圭伸